

映画・映像作品を支える 地域の魅力



NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク 泉谷 昇

フィルム・コミッションとは何か？

こんにちは、NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク（以下：AFN）の泉谷昇です。最近、「愛媛県で映画やテレビドラマなどの撮影が増えたなあ」と感じたことはありませんか？ 例えば、映画では「世界の中心で、愛をさけぶ」「恋は五・七・五！」など、最近では昨年に放映された「がんばっていきまっしょい」などがあります。

このような映像作品の誘致・支援を地域で行っているのがフィルム・コミッション（以下：FC）と呼ぶ機関や活動です。愛媛県では平成14年7月からえひめフィルム・コミッション（愛媛県観光課：当時）とAFNが互いの得意専門分野で協力し、数多くの撮影支援に携わってきました。

さて、そのFCですが愛媛県だけに存在するものではありません。四国各県はもちろん、全国に86カ所（平成18年2月13日現在）にあります。また、世界41カ国にあり、1940年代にアメリカで始まったFCの歴史は既に60年以上になります。日本では昨年に公開された邦画の7割を支援し、FCは映画・映像制作に欠かせない存在になっています。

地域の魅力を考える

みなさんは「愛媛の魅力」をどのように紹介していますか？ 松山城、道後温泉、坊っちゃん、みかん…と、観光地や特産物などを話題にする方もいるでしょう。FCの場合は映像制作者へ対し、地域を「撮影候補地」として紹介しています。それでは、どのような場所が撮影候補地になると思いますか？ 実は先述した松山城や道後温泉のような観光地や名勝地よりも「路地・横道」や「町並み」の方が制作者に好まれる傾向があります。その理由は制作側から考えると下記の2点です。

- 路地や町並みの方が観光地よりも生活感や地域の雰囲気を感じられる。
- 地域に眠る手つかずの魅力ある撮影地を見つけたい、探したい。

わざわざ愛媛で撮影をするのですから、自分達で新しい撮影地を探したいということですね。しか

し、みなさんの中には「愛媛のどこが魅力的なのか？」と疑問に思う方もいるでしょう。そんな疑問に返答できる事例を3つ紹介します。

●台海岸（今治市大三島町）

昨年放映されたテレビドラマ「がんばっていきまっしょい」でボート部の艇庫を建てた海岸です。この海岸の美しさは「島の合間に落ちる夕陽」です。それまでに私たちは県内の海岸を塗りつぶすように探していたにもかかわらず最適な場所が見つからず「イメージに合う海岸は無いかもしれない…」と意気消沈していた時に見つけたので、今でも台海岸を訪れた時の瀬戸内海の美しさは忘れられません。



●翠小学校（伊予市双海町）

昭和6年に建てられた現役の木造校舎です。周囲に高い建造物もなく、校舎の中には歴史を感じさせる階段やまっすぐな廊下が当時のまま残っています。普段は学び舎で観光施設ではありませんが、ここではロックバンドのプロモーションビデオが撮影されました。決め手になったのが木造校舎という稀少性で、制作側へ翠小学校を紹介した時に「こんな学校みたことが無い！」と感激していたのを覚えています。



●路面電車（松山市内）

通勤・通学に毎日利用している路面電車です

が、「地域らしさ」が演出できると撮影希望の相談は多く、特に「坊っちゃん列車」は「旅番組・旅行番組」で取り上げられることが多々あります。もちろん、通常のオレンジ色の車輛も人気が高く、映画やドラマに何度も登場しています。

そんな中、撮影ポイントとして制作側に毎回お薦めしているのが、「赤十字病院前⇄鉄砲町」の路線です。道路と並行の直線で、併走できる珍しい場所として紹介しています。



FC的地域の魅力の探し方

具体的な場所を参考に地域の魅力を紹介しましたが、「そうか！そんな事だったのか」と思っただけならば幸いです。紹介した以外にも愛媛には魅力ある撮影候補地が多くあり、私たちも全てを把握しているわけではありません。

そこで、みなさんに協力いただきたい事があります。下記の7項目は「制作者が日常的に探している撮影候補地の視点(探し方)」です。みなさんの周りや訪問先などで該当する場所があったら、ぜひ教えて下さい。紹介した場所で撮影が行われるかもしれないと思うと楽しくなりませんか？

1 愛媛(地域)固有の風景・建造物

「松山城」や「道後温泉」「しまなみ海道」など、愛媛固有の資源を指します。これらは代替撮影が難しく「愛媛らしさ」を象徴する貴重な財産といえます。

2 何かに似ている・何かのように見えるもの

△△海岸は西欧の○○海岸に見える。◇◇山は富士山に似ている！と、撮影地と物語の舞台が一致しない事は珍しくありません。県外という設定で撮影されても、上映を通し「愛媛」という撮影地をPRできればOKです。

3 特殊な場所・施錠された場所や室内

管理下にある場所(ダムや工場など)、施錠された室内などを指します。これらの場所には必ず、管理者又は所有者がおり、許可無しの撮影行為は法に触れる場合もあります。撮影の際は、事前に許可を得るようにしましょう。

4 明治・大正・昭和初期の風景や建造物

制作者に「最も求められている」といっても過

言ではありません。日本家屋や木造校舎、広がる原風景など、当時は「普通」だった場所も開発などにより、少なくなりました。稀少性からも「時代」を感じさせる撮影地はとても貴重です。

5 地域の無形文化や伝統芸能

地域の魅力は「有形」に限らず、舞や神事などの「無形」もあります。例えば、今治市大三島町には五穀豊穡を祈願し、稲の精霊と角力をとる「一人角力」がありますが初めての人には想像しにくいものです。言葉で表現しにくいイメージを的確に伝える手段として撮影をお薦めします。

6 季節の風物詩

花見や祭り、初詣などは地域色が出やすい風物詩です。例えば、西条市には130以上の豪華絢爛なだんじりや御輿、太鼓台が祭礼を行う「西条まつり」があります。季節を代表する「風物詩」は映像に映えるものも多く、撮影に適しています。

7 日常の風景や建造物

暮らしの中にも撮影候補地は数多くあります。普段は何気なく通る「路地」や「横道」も見方を変えれば撮影候補地です。大切なのは「物語性」で、シーンが想像できれば、そこは既に撮影候補地です。今日から探せる身近な存在です。

いかがだったでしょうか？ 地域の魅力とは遠い場所や存在ではなく、私たちの日常に溢れています。視点を少し変えるだけで地域の見方は変わります。通勤・通学などで「ここだったら○△□なシーンに使えるなあ」と思っただけならばあなたもFCの仲間入りです。

筆者プロフィール

泉谷 昇 (いずみたに のぼる)

国際フィルム・コミッショナー
NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク事務局長
1971年東京都出身。高校卒業後に渡米、映画制作などを学び1995年に帰国。愛媛と東京にてインターネット事業のコンサルティング業務を経て2002年県内初のフィルム・コミッション「NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク」設立。映画・映像を通じ地域の魅力を再発見・再評価するまちづくり活動を実践中。主な支援作品は「世界の中心で、愛をさけぶ」「ロード88」「がんばっていきまっしょい」など多数。現在、愛媛県経済労働部観光国際局観光交流課勤務(えひめフィルム・コミッション担当)

連絡先

NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク
〒790-0846 愛媛県松山市道後北代3-3
TEL&FAX 089-923-8160
E-mail a.f.n@sky.quolia.com
URL <http://www.asiafilm.info/>